

1) テーマ「3学年合同教育キャンプの実践」

2) カテゴリー：②教育内容

3) 学校概要

学校名：泉佐野泉南医師会看護専門学校 所在地：大阪府泉佐野市湊 1-1-30

課程名：3年課程 1学年定員数：40名 就業年限：3年

4) 内容

本校では、平成14年の開校時から新入生教育キャンプを行っていたが、平成21年からは4月に3学年合同の教科外縦割りプログラム（2泊3日）を実施している。コロナ禍は中止や日帰り登山に縮小したものの、令和5年には宿泊キャンプを再開することができた。

以下、合同キャンプの特色について報告する。

#### 特色①リーダーシップ・フォロワーシップを学ぶ

教育キャンプは3年生が運営の責任を担う。約2か月前の2年次2月から、PD（program director：プログラムの企画運営責任者）とMD（Management director：生活面の責任者）の2人のリーダーを選出し、組織作りを始める。3年生はどのようなキャンプにしたいかクラスで話し合い、スローガンを決定し、キャンプ担当教員と相談しながら綿密な企画書を作成する。このプロセスはとても重要で、プログラムの目的を明確にし、どのような成果につなげるのか、他学年が楽しんで参加できる内容か、安全面の配慮ができていないか、様々な側面から学びを得て、達成感は自信にもつながる。

#### 特色②縦割り合同プログラムで互いに成長する

教科外縦割り活動の利点は、異学年の学生が各々の得意を発揮しながら協働できることにある。3年生から発信された情報に基づいて、1、2年生も自分たちの目標、役割を明確化する。3年生は運営側でありながら、1、2年生の協力やポジティブな反応に力づけられる体験をし、1年生は先輩と交流することで看護学生としての第1歩を踏み出す。このような協働の体験は、キャンプ終了後の学生生活や卒後の交流にもつながっている。

#### 特色③教職員が全員参加して学生を支援する

キャンプ担当教員は、外部講師と連携しながらプログラムを構築していく。教員会議ではプロセスが共有され、教職員がどのプログラムにどのように参加するか、自らの役割を考えて決定する。また現地では、学生リーダー会議に自由参加し、学生たちの課題解決に向けた取り組みを、教職員が応援してくれている。学生の頑張りや成長の発見は、教職員のモチベーションにつながっている。



3.6mの壁をクラス全員で協力して登りきる

